



まだまだ寒い日が続いていますが、カレンダーの「立春」という文字に心がぼかぼかしてきました。春が待ち遠しいですね。



今月の行事予定

2月3日(月)	節分豆まき
2月15日(土)	ひまわり会
2月17日(月)	ケーブルテレビ撮影
2月18日(火)	食育(5歳児)
2月19日(水)	Jアラート
2月29日(土)	ひなまつり会

3月の行事予定

3月5日(木)	新入園児健康診断
3月10日(月)	お別れ遠足(一年保育)
3月14日(土)	新入園児保護者会(午前) 在園児保護者会(午後)
3月21(土)	ひまわり会
3月26日(火)	卒園式

※月1回 避難訓練

令和2年2月1日
長寿院保育園

2月3日は節分です！



豆まきの由来

節分には豆をまきますが、これは中国の習俗が伝わったものとされています。豆は「魔滅(まめ)」に通じ、無病息災を祈る意味があります。昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できたという話が残り、「魔の目(魔目=まめ)」に豆を投げつけて「魔を滅する(魔滅=まめ)」に通じるということです。豆まきは一般的に、一家の主人あるいは「年男」(その年の干支生まれの人)が豆をまくものとされていますが、家庭によっては家族全員で、ということも多いようです。家族は自分の数え年の数だけ豆を食べると病気にならず健康でいられると言われています。ただ、豆まきに使う豆は炒った豆でなくてはなりません。なぜなら、生の豆を使うと拾い忘れた豆から芽が出てしまうと縁起が悪いからです。「炒る」は「射る」にも通じ、また、鬼や大豆は陰陽五行説(「木」「火」「土」「金」「水」の五行)の「金」にあたり、この「金」の作用を滅するといわれる「火」で大豆炒ることで、鬼を封じ込めるという意味があります。そして最後は、豆を人間が食べてしまうことにより、鬼を退治した、ということになるわけです。



2020年の恵方は西南西の方位です！！

「ひなまつりかい」に向けて

子どもたちは日々ひなまつりかいの練習に励んでいます。当日は緊張してしまう子もいるかもしれませんが、この1年で大きく成長した一人ひとりの姿を見て頂ければと思います。



『えほうまきもぐもぐ』

節分のおすすめ絵本

節分についての由来や恵方巻の食べ方など詳しく描かれており、絵もとても可愛く楽しい話なのでご家族で読んでみて下さい♪



『せつぶんワイワイまめまきの日』